



下妻市キャリア教育推進事業『しもつま未来学』

目的

・学校・地域・行政が積極的な連携を図り、地域の教育資源をより効果的に活用することをとおして、児童生徒が学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感し、将来の社会的・職業的自立につながる資質・能力・態度を育む。地域の教育資源をとおして地域の人々や社会と関わることで、自らも地域社会の一員であるという自覚を高め、いつもまでも心の中に「大切なふるさと」として下妻市を誇りに思い続け、将来への夢を抱きながら地域を考え、地域の未来をつくる人材を育成する。

事業概要

1. 『しもつま未来学』では、4つのプロジェクトをとおして、地域の人々や社会との適切な関係を構築する力や実践する力を育てることを通じて、「生きる力」を醸成し、主体的に下妻市の未来をつくる人材を育成する。
2. 事業を円滑に実施するために、学校・地域・行政が積極的な連携を図り、地域の教育資源を効果的に活用することが必要である。教育委員会が3者をつなぐコーディネーターとなり、学校・地域・行政による一体的なキャリア教育の推進を図る。

1. Four projects

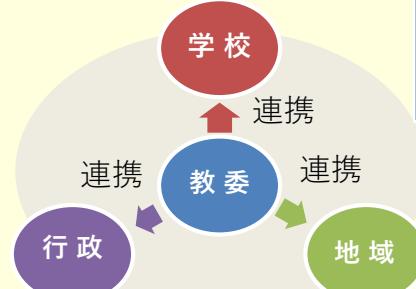


学びから実践へ



2. Four links

学校と地域と行政と
教育委員会が連携



本市の歴史や地理的特性を認識しつつ、地域の産業が大切な市の資産であり、失ってはならない資源であることを学ぶ。

「下妻市で起業している人」や「新しい働き方をしている人」など様々な仕事をしている人から生徒が話を聞く機会をつくり、多様な仕事のあり方への理解を促す。また、キャリアを形成していく方法等について、専門的な知識や情報を持っている外部講師から直接学び、生徒がより主体的に人生の選択をしていくよう、自己と向き合う機会をつくる。

市立中学校において実施している職場体験学習の取組を継続し、農業体験や加工・生産体験、販売体験などの体験を通じて生徒が地域の産業を理解する。地場産業が受入先となることにより、地域への愛着と地場産業や地域工芸等に対する理解促進を図る。

児童生徒が地域の祭りやイベントに参加し実践的・体験的な活動を通して、人生の多様な選択肢の一つとして起業を知り、アントレプレナーシップを培う機会をつくる。また、地域の多様な人々や社会との関わりから、自分も地域社会の一員であるという自覚や、これから地域の発展を実現しようとする意識の高揚を図る。

地域を知る
調べる・体験・講話

地域に出る
何ができるか考える

地域とともに
行動する

■地域でキャリア教育を円滑に実施するために、学校と地域と行政が積極的な連携を図り、地域の教育資源を効果的に活用することが必要。教育委員会が3者をつなぐキャリア教育のコーディネーターとなり、学校・地域・行政による一体的なキャリア教育の推進を可能とする。